

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年9月30日（月）
- 2 確認箇所
K4タンクエリア（図1）
- 3 確認項目
K4タンク（C群）点検作業の実施状況

4 確認結果の概要

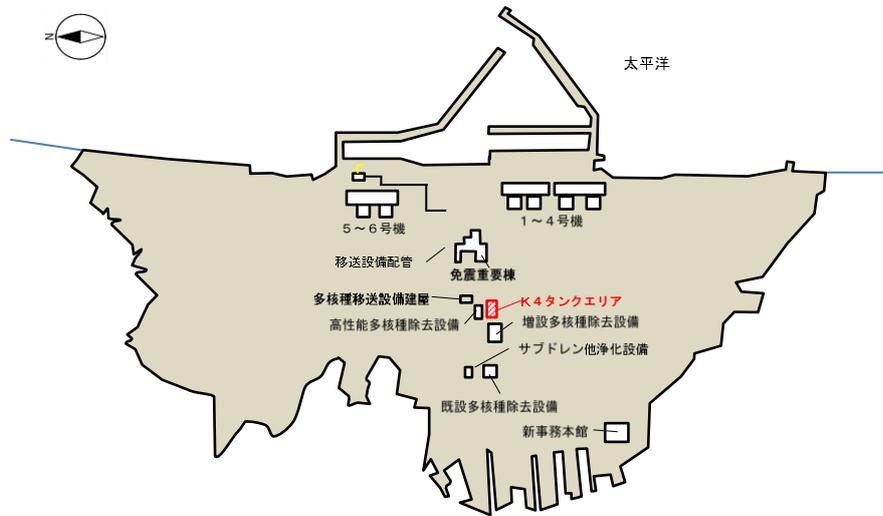
多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、海水で希釈する前に、測定・確認用設備（K4タンク群）から試料を採取・分析し、放射性物質濃度が放出基準値を満足していることを確認した後に、希釈・放出されている。

本日は、測定・確認用設備（K4タンク群）のC群の点検が実施されていることから、点検作業の実施状況について確認した。

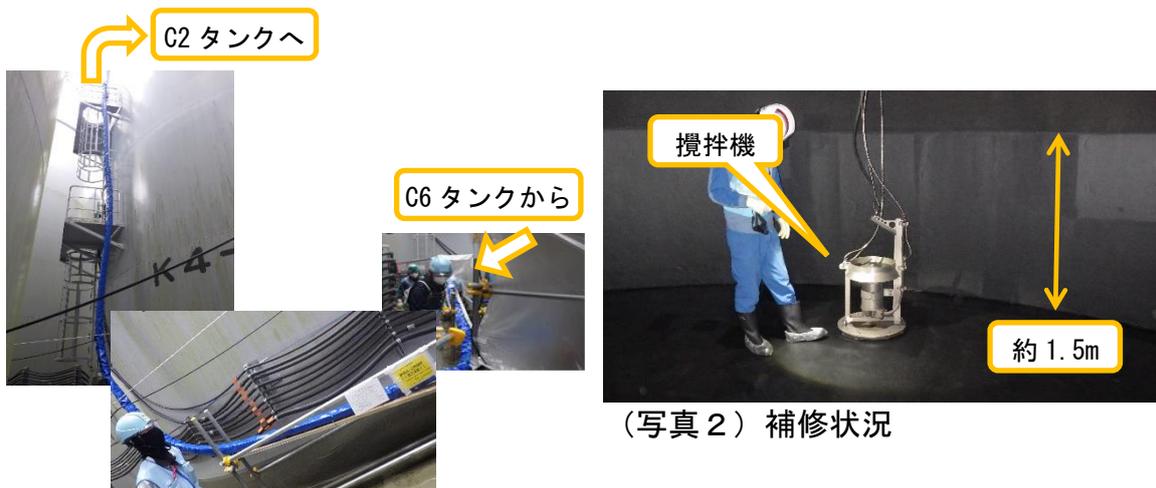
- ・当日は、タンク間移送用配管の接続作業が行われていた。設置後、複数の作業員による接続確認が実施され、その後、タンク内のALPS処理水が別のタンクに移送された。（写真1）
- ・配管の接続部はポリエチレンシートによる養生がなされるとともに、液受けが設置されていた。
- ・確認した範囲において、ALPS処理水の漏えい等はなかった。

《東京電力からの聴取内容》

- ・タンクの点検は、タンク内の内部水の移送⇒内壁の目視確認（必要に応じ機器による計測）⇒補修・塗装⇒最終確認の手順で実施。
- ・今回の点検はC群を対象としており、確認日時時点で、点検作業の60～70%が完了している。A群及びB群についても、今後、点検を行う。
- ・現在の作業は、C6タンクからC2タンクへタンク内の内部水を移送しているところ。
- ・点検作業のうち、ALPS処理水の移送及び最終確認は東電社員が実施する。
- ・目視点検は約30箇所を実施し、補修箇所は記録している。
- ・内壁塗装は下部（底面から約1.5 m高さ）のみ実施する。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 内部水の移送

(写真2) 補修状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。